

会議録(要旨)

会議の名称	第7回戸田市スポーツセンター基本構想策定委員会
開催日時	令和7年12月23日(火) 午前9時30分～午前11時00分
開催場所	戸田市役所 7階 第5委員会室
出席者氏名	学識経験者（日本薬科大学特任教授兼埼玉県スポーツ協会専務理事）久保 正美 学識経験者（拓殖大学教授）松橋 崇史 学識経験者（平成国際大学専任講師）秋本 成晴 戸田市スポーツ協会 萩原 哲夫 戸田市レクリエーション協会 山崎 雅俊（代理出席） 戸田市スポーツ推進委員連絡協議会 平野 秀明 公益財団法人戸田市文化スポーツ財団 赤坂 直樹 戸田市小学校体育連盟 武藤 昌博 戸田市中学校体育連盟 渡部 淳子 戸田市 副市長 豊島 浩明 戸田市企画財政部長 渡邊 昌彦 戸田市市民生活部 秋元 幸子 戸田市環境経済部長 香林 勉 戸田市健康福祉部長 櫻井 聰 戸田市都市整備部長 早川 昌彦 その他市長が必要と認める者 荘 良明
事務局	市民生活部次長、（文化スポーツ課）戸田市スポーツセンター再整備プロジェクトチーム、パシフィックコンサルタンツ株式会社
議題	(1) 基本構想策定に向けた今後の論点（器械体操・相撲・屋上利用） (2) 事業手法の検討、サウンディングについて (3) 基本構想骨子について
会議結果	器械体操・相撲・屋上利用について、事例や課題を確認し、基本構想策定に向けて引き続き検討を進めることとした。 また、再整備にあたり、後々の手戻りを防ぐため、「建替え」の方針を前提としつつ、「建替え再整備」と「既存施設を活用した再整備」の両パターンについて、概算事業費の積算及びサウンディング調査を行い、比較検討を進めることとした。あわせて、検討範囲の拡大に伴い、基本構想の策定期限を令和8年9月へ半年間後ろ倒しすることとした。
会議の経過	別紙のとおり
議事録確定	令和8年1月16日 委員長 久保 正美

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	■開会
事務局	■新規加入事務局員の紹介
委員長	■議題（1）基本構想策定に向けた今後の論点（器械体操・相撲・屋上利用）について説明をお願いしたい。
事務局	■（1）基本構想策定に向けた今後の論点（器械体操・相撲・屋上利用）について説明。
委員	器械体操について、体操選手は民間団体に所属している選手が多く、所属団体として公共の名前が出てくるのは珍しい。トップレベルの選手では戸田市くらいである。器械体操の専用施設を整備しない場合は、現在スポーツ教室等で器械体操をしている利用者たちがどうなるのか。今まで他の器械体操の団体をみていると、選手の移籍や統合などもあり、行先などの検討が必要だと思うが、どのようになるのか教えていただきたい。
事務局	もちろん団体との調整は大前提であると考えている。スポーツセンターの再整備にあたっては、現在、各施設のメリット・デメリットを整理しながら施設機能を検討しているなかで、市民全体のニーズを踏まえて方向性を決めていくことになると考えている。市民ニーズを踏まえ、器械体操専用施設の整備ができないとなった場合は、早めに丁寧な説明をし、調整していきたい。
委員	時間を要するかと思うが、双方が問題のない形で話し合いできると良い。
委員	器械体操は戸田市で実績を残してきた競技であるため、個人的には専用施設でぜひ残してほしいとは思っている。スポーツセンターのあり方の考え方によるが、専用施設を整備しないのであれば早く方向性を示してほしい。
委員	事務局から説明があったが、器械体操はどこでもできるものではない。そのような意味で戸田市はマッチングができている。そのなかでオリンピアンの輩出や、指導者育成につながっている。今後、指導者も不足していくなかで重要であると考える。経費もかかるかと思うが、子どもたちが安全に競技をするためにも充実した環境は必要であり、これまでの歴史と実績を踏まえて、規模が縮小しても存続してもらいたいと思う。スポーツセンターで活動している器械体操の総合型地域スポーツクラブは、埼玉県スポーツ協会の競技団体指定クラブとなっている。廃止にならないように検討してほしい。市民にスポーツを見てもらう、してもらうきっかけになれば良いと考えている。
委員	戸田市はボート競技などが有名であるが、器械体操競技は今回の議論になるまで、見聞きしてこなかった。集客施設でもなく、マーケティングしているわけではないが、蓄積してきたものをもっと発信していくべきだと思う。全国のスポーツに特化したまちづくり事例を調べているが、発信するに堪えうるコンテンツではあるかと思うので、廃止ま

	たは継続について市として検討していく余地はあると思う。
委員長	存続すべき、もっと発信していった方が良い、無くす場合も丁寧な説明・対応が必要、という意見が出たかと思う。 来年2月のミラノ・科尔ティナ2026冬季オリンピックにおいて、県から3名出場する予定であるが、3名とも上尾市の埼玉アイスアリーナで練習をして強くなつた選手である。埼玉県で屋内スケートリンクは上尾市にしかないため、施設があるということは重要だと感じている。また、先ほど意見もあったが、そこで選手が育つだけでなく指導者や育成システムもできていく。施設の大切さを感じている。
委員	戸田市の規模でそのような施設を抱える必要があるのか、という点も議論していくべきである。上尾市のアイスアリーナも戸田市のボート場も県や民間企業が関わっている。体操競技の歴史は非常に重要と認識しているが、戸田市の規模で一つの競技を管理・運営していく必要があるのかは議論すべきであり、民間企業で負担してもらうなど、もっと大きな規模で存続していく方法も探してほしい。
委員	相撲場について、以前は市内に土俵があり、当時、わんぱく相撲競技が盛んだったが、現在は市内に土俵がなくなったこともあり、市内の競技者は減少傾向にある。競技人口が少ない競技については広域で考えていくことが必要と考える。蕨市に立派な相撲場があることから、案③のように多目的室内でやっていくことや他自治体と連携していくことも視野に入れて、考えていくべきだと思う。
委員	屋上利用をスポーツ利用とした場合、躯体などのコストがかかってくるため、太陽光パネルなどが良いのではないかと思った。以前見た屋上緑化をしている例はかなり頑丈なものだった。そのあたりのコストも踏まえて検討していくと良い。
事務局	屋上利用をしていく場合は、ある程度の躯体を組まないといけないかと思う。コストとスペースを考慮していく必要がある。
委員	ペロブスカイト太陽電池などの開発が進み、一般的になれば、スポーツセンターが整備される頃には導入も可能なのではないか。
事務局	現在は開発過程であり、実証実験的な扱いとして使われている。そのためまだ確立されてはいないが、実用化されればコスト面ではメリットがあると言われている。
委員	弓道場の整備は屋上か屋内か、どのような議論をしていたか。
事務局	現在、機能を整理しているところであり、設置位置については弓道場のあり方を含めて今後検討を行う。
委員	弓道連盟からも現施設は使いづらいと聞いている。場所については、屋上または屋内なのかも検討は必要と考える。太陽光の設備など有効スペースの活用についても検討してほしい。
事務局	事務局の見解として、今回の再整備にあたっては、市民のスポーツへの関わりを底上げ

	していきたいということで、より多くの市民に施設を利用してもらいたいという想いがあり、公共施設として様々な市民のスポーツ利用をコンセプトに掲げ、総合的なスポーツ施設にしていきたいと考えている。器械体操は専用施設でありフレキシブルな活用がなかなか難しい施設ではある一方、歴史や実績もあり、市の重要なスポーツの一つではあると考えている。ただし、様々な競技がある中で、限りある施設とコストで何を残していくかは非常に難しい問題と考えている。市民のための公共施設という考え方を踏まえ、どのように戸田市のカラーをだしていくかということをしっかりと議論し、最終的にコストも含めて決定していきたい。屋上利用については、限りあるスペースのなかで、施設内外に入りきらない機能を入れていく可能性もある。最終的には、コストや社会ニーズ、市民ニーズを踏まえながら今後選択していくことになると思う。
委員長	■議題（2）事業手法の検討について説明をお願いしたい。
事務局	■議題（2）事業手法の検討について説明。
委員	現在の施設を活用した場合、アリーナはほぼ真四角であるため、バレー場などは3面とれるがコート間隔が狭く、大会などの際に危ないシーンが見られた。バレー場においては、コート間をとるために長方形の方が望ましいと考える。また、改修では、相当な期間が使えなくなることなども考えると、建替えが良いかと思う。
委員長	検討範囲の拡大については、後々の手戻りを防ぎ、多面的に幅広く検討していくことかと思う。
委員	建替え前提で動いているかと思うが、リノベーションを考慮することも大事である。一方で、物価高騰により建築費も年々高騰しており、リノベーションの方向で進めても、時間が経過すると実施する頃には建替え費用と結局あまり変わらないという可能性もあるため、早めに方向性を決めて進めていく必要があると考える。また、リノベーションでもPFI手法を用いることは可能なのか伺いたい。
事務局	RO手法も民間資金を活用した手法であることから、PFI手法を活用したリノベーションは可能と考える。
委員長	■議題（2）サウンディングについて説明をお願いしたい。
事務局	■議題（2）サウンディングについて説明。
	意見等特になし
委員長	■議題（3）基本構想の骨子について説明をお願いしたい。
事務局	■議題（3）基本構想の骨子について説明。
委員	資料6の3ページの「対象地における課題」の中で、“建築敷地と都市公園敷地の入れ替えが生じる際には、土地区画整理事業計画を変更する必要があり、手続きに3年程度の期間がかかります。”とあるが、現在、土地区画整理事業で調整池などの調整を行つ

	<p>おり、令和7～9年度の予定で手続きを進めている。一方、建替えかリノベーションかというところの検討により、現在の基本構想の検討スケジュールでは、事業計画の変更スケジュールと合わなくなってくる。そのため、現在進めている事業計画変更の手続きとは切り分けて考え、国土交通省との調整も必要となるため、手続きに1・5年程度の期間がかかる、というように記載を変更いただきたい。</p> <p>また、上位関連計画で第2次戸田市都市マスターplanとあるが、令和8年3月に第3次戸田市都市マスターplanとして改定予定である。基本構想策定期が令和8年9月のため、戸田市都市マスターplanは第3次の内容を反映できるかと思うので、関係課と調整していただきたい。</p>
事務局	関係課と調整を図り、文言の修正等を行っていきたい。また、上位関連計画については、スポーツ推進計画も令和8年3月に改定予定であるため、基本構想策定期には最新情報を記載していきたい。
委員	建替えの場合、スポーツセンターに求めるものが重要となってくるかと思う。さいたま市のさいたまスーパーアリーナは国際的な大規模な大会を開催してきたが、会議室が多く、使い勝手が良い。戸田市の規模でそこまで必要かどうか、見るスポーツをどこまでやるのか、コンセプトに基づき施設機能を確定していくと良い。
委員	今後の検討については、サウンディングの結果も踏まえながら進めていきたい。
事務局	<p>■その他・連絡事項</p> <p>今回の委員会は、令和8年5月頃を予定している。議題として、1月～3月頃にかけて実施するサウンディング調査の実施結果や、次回以降パブリックコメントとして公表する基本構想案について、議論したいと考えている。</p> <p>後日、日程調整の連絡をさせていただく。</p>
事務局	■閉会